

vol.34 2014

グループホーム こんぴら

行事報告

サンライズ こんぴら

行事報告

取り組み:「火災・災害に備えて」

利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜」 第28回

編集後記

関連機関



KEIRYOKAI
produced by
医療法人 圭良会

特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第28回



! お米は買ったなら米びつに入れ、赤唐辛子を

お米を買ってビニール袋に入れたままにしておくと、蒸れて味が落ちてしまうことがあります。買ったなら、すぐに米びつに移しましょう。すぐに食べられず、長く保存しておくときには、虫がついてしまう心配があるので、赤唐辛子を2〜3本入れておくと予防になります。

! タンスの不愉快な臭いはホットミルクで追い出す

クローゼットやタンスの内側にこもった。嫌な防虫剤の臭いは牛乳で追い出します。沸騰した牛乳をコップに入れて、クローゼットの中に置き、牛乳が冷めた頃に扉を開ければ、嫌な臭いはすっかり消えているはず。他にも生のジャガイモを半分に切り、容器に入れてタンスの中に置くだけで、数日後には臭いがなくなっています。



*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!? 知らなかった〜! 昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

昼夜の気温差の大きい季節になってきました。風邪を引きやすい季節ですので、外出後・食事前には手洗い、うがいを行いましょう。また、十分に栄養を取ったり休息をとる事も重要です。体調を壊さないように過ごしてください。



グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第34号

発行元: 認知症高齢者グループホーム こんぴら 編集者: グループホーム こんぴらだより発行部

住所: 〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成26年11月1日

支援医療機関・介護保険事業所



永生病院

〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホーム こんぴら 建物1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188

グループホーム こんぴら

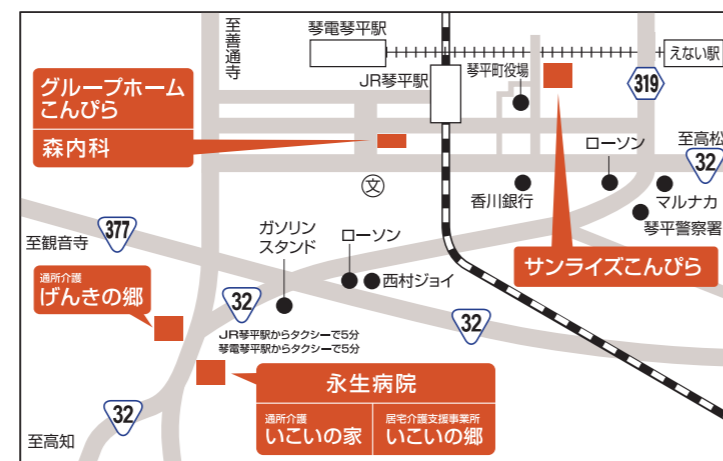
Tel 0877-73-0811



サンライズ こんぴら

(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



グループホームこんぴら Group Home Konpira

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

～第4回地域密着ケア・地域包括ケア全国研修会 in 広島～

平成26年7月12日、13日、広島で開催された第4回地域密着ケア・地域包括ケア全国研修会に参加し、「馴染みの環境で最期を迎えるために」をテーマに、グループホームこんぴらで看取りのケアを行った事例について発表をしました。

今回の取り組みを通して、改めて入居様が安心して最期を迎えるために、私たちがどんなケアや関わりを持っていくべきかを考えるよい機会となりました。今後も今回の研修で学んだ事を十分に活かしていきたいと思ひます。



～遠足～

今年も満濃公園へ遠足に行きました。入居者のご家族様も来られ、一緒にお弁当を食べたり公園内を散歩したりと楽しまれていました。満濃公園内には、今年もたくさんのコスモスなどの色とりどりの花が咲いており「きれいに咲いとるなー」「風が気持ちええな」などの声が聞かれ、写真に納まる入居者様、ご家族様はとてもよい笑顔でした。



～家事活動～

グループホームこんぴらでは、入居様に家事活動として職員と一緒に料理や洗濯たたみを行ってもらっています。一緒に行っていると「昔は洗濯にはもっと時間がかかったもんや～」などと言われ、他の入居者様とも話しをしながら行っています。また、入居者様から、自主的に「なんか手伝おうか。」「なんでもするよ。」などといった言葉も聞かれ、ホームでの生活の中で自分の役割をもち活動的に過ごされています。

サンライズこんぴら Sunrise Konpira

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

- 1.通い泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせ合わせた介護支援を行います
- 2.地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
- 3.365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

～地域運営推進会議～

9月24日に地域運営推進会議で、今年度も琴平町南部消防署の方々に来ていただき、避難訓練、消火器訓練、地震時の対策を教えていただきました。実際に利用者様、地域の方々で避難訓練を行い、避難にかかる時間、手順を消防署の方に見ていただきアドバイスをいただきました。また地震が起こった際の対策を再確認する事ができました。今後も定期的に訓練を行い災害発生時に備えて取り組んでいきたいと思ひます。



～瀬戸大橋記念公園～

10月16日(木)瀬戸大橋記念公園に遠足に行きました。天気も良く青空の下で食べるお弁当はとても美味しいと満足されていました。また、展望台からは瀬戸内海や瀬戸大橋が一望でき、「海を見るのは久しぶり。風が気持ちええなあ。」と大変喜ばれていました。記念館には瀬戸大橋の歴史や橋の建設に関する資料が展示しており、興味深くご覧になっていました。

遠足は毎年の恒例行事ですが、今後も利用者様が楽しんでいただける様なアイデアを出していきたいと思ひます。



利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。

第7回 ～治らない認知症でも症状を軽くできる～

治らない認知症の症状には、記憶障害や認知障害を中心とした中核症状と様々な精神症状からなる行動・心理症状(BPSD)があります。中核症状とは、今した事を忘れてしまったり、道に迷うといった認知症の中心的な症状です。症状の進行を抑制する薬剤とリハビリテーションなどによって、残っている知的機能をできるだけ保つ事が治療の中心となります。一方、行動・心理症状は治療薬によってある程度症状を軽くすることができます。例えば不眠や妄想、うつ状態には適切に薬を服用することによって症状が改善する事があります。介護をされている方を悩ませるのは主に行動・心理症状だと思ひますが、適切な治療をする事で症状を軽くすることができるので、早めに病院で相談してみてください。

(参考文献:認知症のお年寄りへの対応 編集/順天堂大学医学部精神医学講座教授 新井平伊)

取り組み 火災・災害に備えて

グループホームでは火災や災害発生時に備えて色々な取り組みを行っています。年4回の避難訓練を入居者様と一緒に行うことで、実際に近い訓練を行っています。災害時には水道・電気・ガスが停止するかもしれないため屋上には自家発電装置があり、非常食・飲料水も保存しています。いざという時に消火器や消火栓を職員が使えるように使用方法についての勉強会も行い訓練しています。

また、圭良会全体では防災対策委員会を設置し、毎月各部署の代表者が集まり、火災対策や自然災害に対するの備えや職員への教育について話し合うなどの防災活動を行っています。

